

吾妻山砂防通信

第25号

うつくしま・みずウォーク

5月12日(土)に、清流日本一を誇る荒川沿いを歩く「うつくしま・みずウォーク2012福島大会」が開催されました。

約1800人の参加者が雄大な自然や歴史的な砂防施設の景色を満喫しながらウォーキングを楽しみました。

6、10、18kmの3コースがあり、国の登録有形文化財や選奨土木遺産に認定されている地蔵原堰堤と荒川第5堰堤、自然環境に優しい荒川遊砂地大暗渠砂防堰堤が全コース共通の名所となりました。

ゴール地点では砂防施設の歴史や仕組みのパネル展示と土石流模型実験を行い、多くのウォーカーの皆さんにご覧いただきました。



荒川遊砂地大暗渠砂防堰堤は橋のよう？



新緑の中の地蔵原堰堤を見ながら渡ります

みずウォーク会場での土石流模型実験。砂防堰堤がないと土石流が市街地にまで流出してしまいます・・・



最大200ミリの「ゲリラ豪雨」を体験！

←降雨体験装置が初登場！ 荒川フェスティバル

うつくしま・みずウォークと同日の5月12日(土)、荒川桜づつみ河川公園では『うつくしま復興 荒川フェスティバル』が開催されました。芸能まつりやふれあい市場、フリーマーケット等の設置で会場は賑わいをみせました。

福島河川国道事務所では、東日本大震災で使用した災害対策車と国土交通省の活動パネルの展示や降雨体験装置での豪雨体験のほか、土石流模型実験も行いました。



ここが横に張り出します

拡幅部を展開して後ろから見たところです。通常時と広さが大きく違うのがわかります。

災害対策車

災害時の備えの大切さを知ってね！



国土交通省の奮闘！東日本大震災パネル展



当事務所(福島市黒岩)1階ロビーでもご覧いただけます。

トップページが新しくなりました!



福島河川国道事務所のホームページのトップページが新しくなりました。

ここから吾妻山砂防通信や他出張所から発行されている出張所だよりが閲覧できます。過去の「吾妻山砂防通信」はもちろん、平成21年3月まで発行された「FROMあらかわ」や「松川砂防つつしん」も掲載されています。

また、緊急防災情報や当事務所が管理している砂防施設・河川・国道のライブカメラもご覧いただけます。



トップページの「出張所だより」をクリックすると出張所だよりのコーナーに画面が変わります。



6月は土砂災害防止月間です!

土砂災害から身を守るために

日頃の備え

- 日頃から土砂災害に関する防災情報に注意しましょう。
- 危険な箇所を調べておきましょう。
- 避難路・避難場所・避難方法などについて確認しておきましょう。
- 高齢者の方などに日頃から声をかけあい、いっしょに避難しましょう。

雨が降り始めたら...

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。気象予報などさまざまな情報に気を配り、土砂災害警報情報に基づき避難をしましょう。

日頃の訓練で、
すばやい避難を!

土砂災害に対する防災訓練に積極的に参加しましょう。

避難の準備

非常用持ち出し袋を準備しておきましょう。ラジオや携帯電話なども忘れずに。



避難場所の確認をしよう!

お問い合わせはこちら
(ご意見・ご感想・砂防に関すること)

国土交通省 福島河川国道事務所
吾妻山山系砂防出張所(本庁舎)
〒960-2156
福島県福島市荒井字地藏原甲2-14
TEL 024-593-0831

吾妻山山系砂防出張所(松川庁舎)
〒960-2261
福島県福島市町庭坂字遠原三3-4
TEL 024-591-1207
H P <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

